

令和6年度 子ども会育成会の手引き



上田市子ども会育成連絡協議会

目 次

会長あいさつ	2
子ども会育成会に関わりのある組織	3
子ども会育成会で大切にしたいこと	4
子ども会育成会の現状は？	4
子ども会育成会の活動を進めていくポイント	5
活動資源ワークシート	7
KYT(危険予知トレーニング)を進めてみませんか	8
子ども会育成会活動の一年	9
うれしい！楽しい！体験活動	10
文部科学省の青少年の体験活動に関する調査	12
上田市子ども会育成連絡協議会事務局所在地・連絡先等	13

地域の子どもは、地域 みんなで育てていきたいですね

上田市子ども会育成連絡協議会

会長 坂口 純一

日頃より、育成会活動に御理解と御尽力をいただきまして誠にありがとうございます。

育成会長の皆様におかれましては、日々のお仕事や家庭生活でお忙しい中子どもたちのために活動していただいていることに感謝申し上げます。

コロナが5類になったと言われて早いもので1年が過ぎました。

コロナ禍により、活動が制限され、実施することも困難であったことにより大事にしなければならないことまで失われてしまったような気がしています。

コロナ禍が明けた今だからこそ、子どもたちと地域コミュニティのつながりや関りが大切に思われます。

そして、大人も子どもと一緒に楽しく活動していくことが、子どもたちが育つうえでとても重要であることも実感しています。

とはいえ、日程調整や時間のやりくり等で事業運営が難しいこともあることでしょう。

皆さまにはそれぞれのお立場で、その時の状況に合わせて子どもたちの活動を応援し、盛り立てていってくださることを願っております。

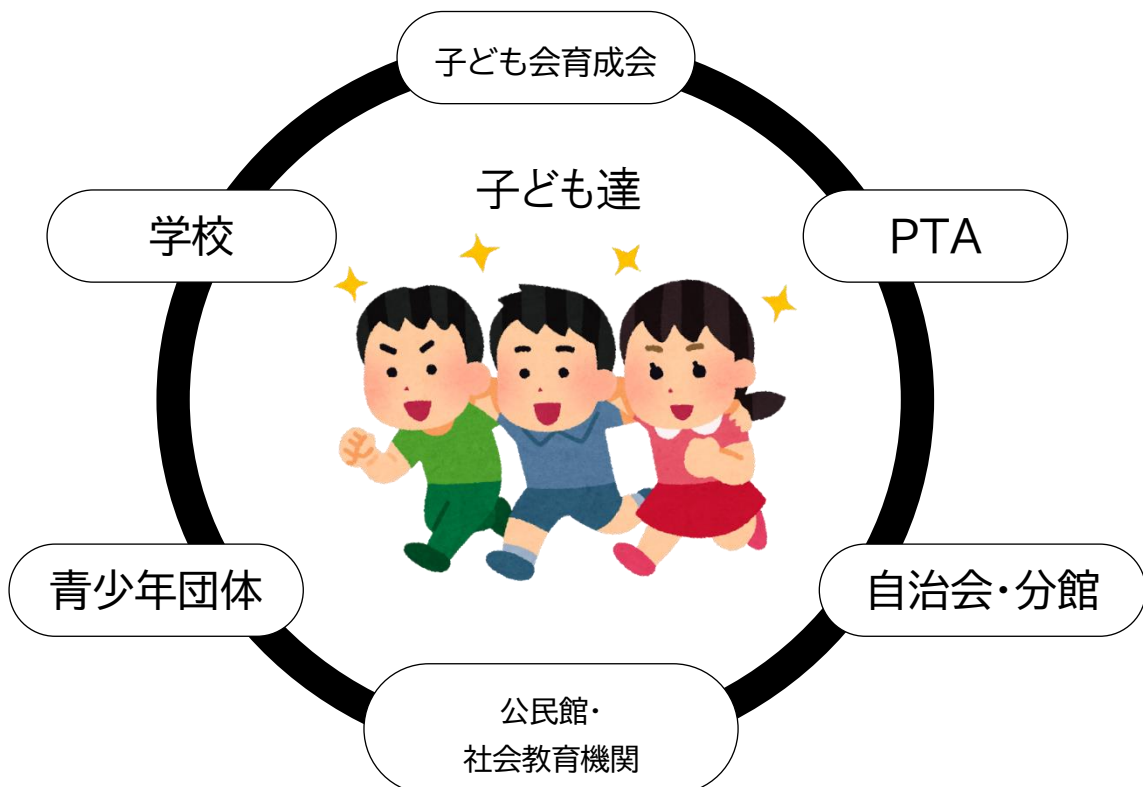
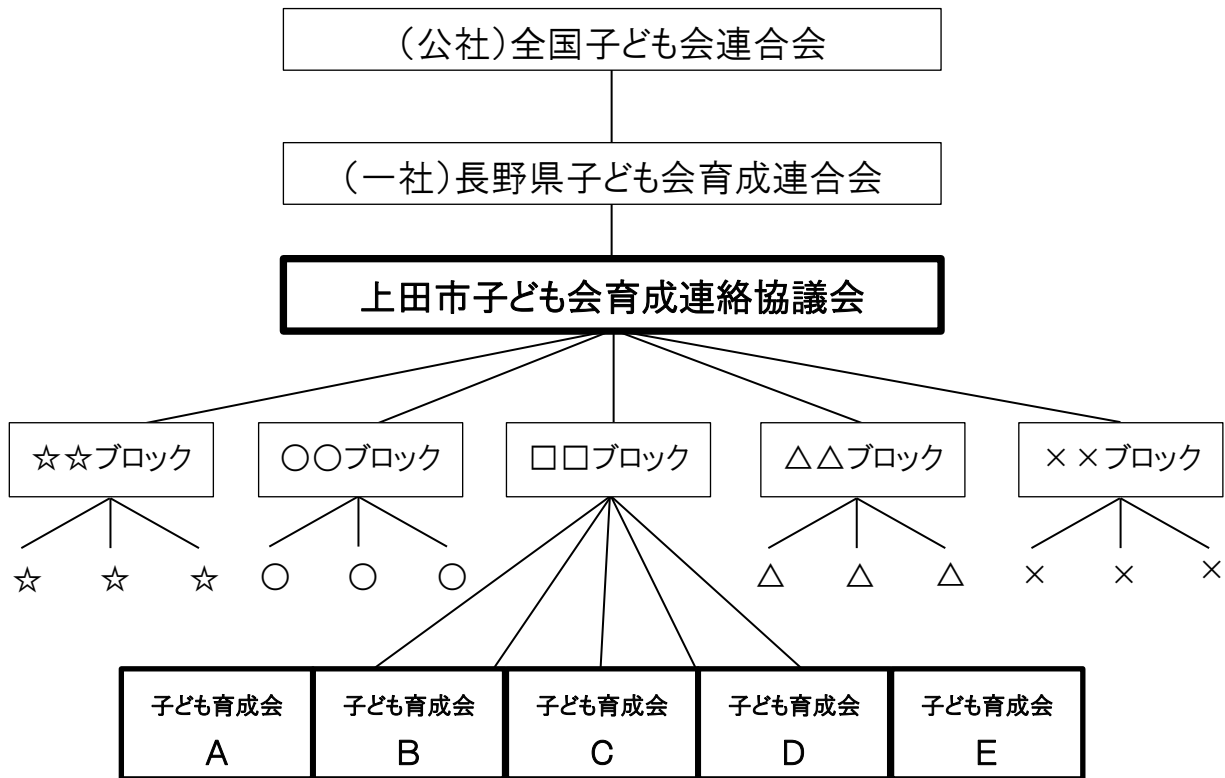
地域の子どもは、地域で育っていきます。

私たちも子どもたちと共に楽しみながら、一緒に成長していきましょう。

子ども会育成会に関わりのある組織

上田市子ども会育成連絡協議会（通称、市子連）は、地域の子ども会育成会（単位育成会）の活動推進及び単位育成会同士の連絡連携を図ることを目的とした組織で、単位育成会の代表者で構成される任意の団体です。

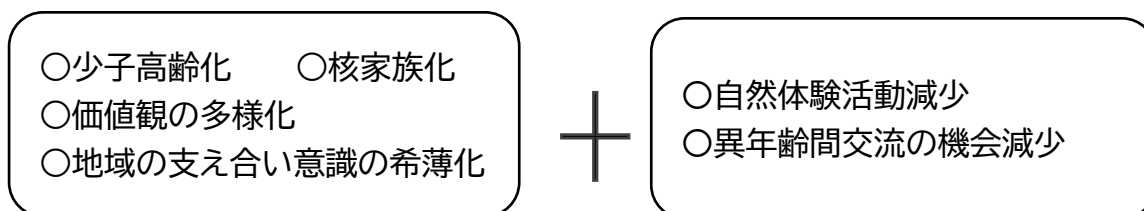
事務局は上田市教育委員会生涯学習文化財課青少年係内にあります。



子ども会育成会で大切にしたいこと

- ★子どもたちが遊びや体験活動を通して豊かな人格、生きる力、社会性を身につけられるよう支援する …自然体験活動など
- ★子どもたちが社会の一員として必要な知識、技能や態度などを学び、身体と心の成長に大切な活動を促進する …異年齢間交流など

子どもたちと、子ども会育成会の現状は？



- ・コロナ禍前に行われてきた活動の復活が難しい(引継ぎができない)
- ・PTAとの連携がうまく取れず子どもたちが求めていることがわからない
- ・子どもたちが休みの日も忙しく、事業に参加してもらいづらい
- ・子どもが少なくて活動できない



子どもたちが自由に思い切り遊ぶ機会・環境が激減しています！

子どもたちが安心して遊ぶ・体験する場の確保や、
遊びや体験の機会を作る重要性が増しており、
育成会活動に大きな期待が寄せられています！

子ども会育成会の活動を進めていくポイント

1 楽しいつどいのもち方、進め方のポイント

行事にしても会議にしても、人が集まった時に誰もが楽しいと感じるようにすると、活動も自然と活発になります。

- ① 内容が形式的でなく、充実していて、参加者の期待に沿えること
- ② 誰もが公平平等の立場で参加できて、かた苦しい雰囲気ではないこと
- ③ 初めての参加でも誰かが声をかけてくれて、安心して仲間になれること
- ④ プログラムの進行がスムーズでメリハリがきいて、リズムがあること
- ⑤ 一部の人たちだけでなく、全員参加の場面が用意されていること
- ⑥ 全員で歌ったり、ゲームや軽い体操なども有効です
- ⑦ 運営する役員の“目配り・気配り・思いやり”がポイントです

2 会議のもち方、進め方のポイント

よい会議は気持ちよく進み、次回の会議にも参加しようと思います。

- ① 集まりやすい日時や場所を選び、開始と閉会の時刻を守ること
- ② 会場づくりに気を配る（席を早めに作る、飲み物やお菓子を用意する等）
- ③ 参加者に向けて会議で話し合う内容を予告する、資料を事前配付する
- ④ 司会、進行、記録などの係を決めておき、進め方の打ち合わせをしておく
- ⑤ 事務的な連絡、出席者の意見やアイデアを求める、今後どうしていくのか決めることなど、それぞれに分けて進めると効率的です
- ⑥ 誰もが気軽にホンネで発言できる雰囲気で、一人一人を大切に

3 子どもとのかかわり方のポイント

育成会役員は子どもとの相談やふれあいが多くなります。

- ① なるべく早く一人一人の子どもの名前を覚え、性格や特技、子ども同士の関係をつかみましょう

- ② 気長に子どもの話をよく聞くように努めましょう
- ③ 子どもに他人の発言をよく聞くように促しましょう
- ④ 子どものリーダーを立て、リーダーを介して助言や指導をしましょう
- ⑤ できることとできないことを明確にして、約束を守りましょう
- ⑥ 時として子どもたちに対して毅然とした態度で臨むことも必要です
- ⑦ 明るい態度で朗らかに接しましょう
- ⑧ 子どもとの信頼関係を大切にしましょう

4 安全確保の第一歩

どんなに有意義な活動でも、大きな事故などが発生してしまつては、今までの積み重ねが台無しです。大人の豊富な経験を活かして、危険予知や安全確保に配慮したいものです。

現代の子どもたちは、野外での活動的な遊びの経験が少なく、保護者以外の地域の大人との関わりが希薄です。

「危ないからだめ」というのではなく積極的な活動の体験を通して安全の限界や危険を見分け、危険を避ける能力を高めていくことが大切になります。

そのためにも、大人の目配りや、安全確保のための状況チェックは必要です。

子ども会活動中の万一の事故に対しては、安全共済会制度があります。

5 育成会役員の引継ぎ

- ① 子ども会育成会の目的、ねらい、願い、これまで気をつけてきた点
- ② 新規加入会員(入学生)、継続会員、退会者(卒業生)等の把握
- ③ 指導者、協力者、支援者の把握
- ④ 前年度の事業の経過、収支決算の経過
- ⑤ 行政や学校との連携
- ⑥ 他の育成会や地域の関係団体との連携
- ⑦ 各種資料、記録(文書や画像のデータ)等の引継ぎ

あなたの育成会について、記入してみましょう

—活動資源ワークシート—

1 あなたの自治会の青少年育成関係者の名前や連絡先を記録しておきましょう

	氏名	連絡先	備考
子ども会育成会長			
自治会長			
分館役員			分館長・副分館長・ 分館主事・青少年育 成推進指導員等
少年補導委員			
PTA支部役員			小学校
			中学校
民生児童委員			
主任児童委員			
活動に協力してくだ さる指導者・補助者			

2 あなたの育成会の子どもたちはどこの学校・保育園に通っているでしょうか

	①		②	
乳幼児	保育園・幼稚園	人	保育園・幼稚園	人
小学生	小学校	人	小学校	人
中学生	中学校	人	中学校	人

3 自治会や地域内で、子どもの体験活動に活用できそうな場所があるか調べてみましょう

・
・
・

4 あなたの育成会で力を入れていることを調べてみましょう

(育成会活動、リサイクル活動、お祭り、キャンプ、学童野球、お楽しみ会など)

・
・
・

KYT(危険予知トレーニング)を進めてみませんか

楽しい活動の中にも「危険」が隠れています。

事故防止には、「危険」を知ること、特に「潜在的な危険」を発見し、安全に対する心構えを持つておくことが重要です。

1 「KYT」とは

KYTはK(危険)Y(予知)T(トレーニング)の略です。

KYTは活動中の事故を未然に防ぐことを目的としています。活動参加者(子ども・育成者)が自らトレーニングに参加し、危険について考え、「自らの危険回避能力」を高めることが目的です。

2 KYTは簡単にできます

具体的な絵(資料)を見て、みんなで話し合いながらゲーム感覚で危険を発見し、その対策を考えます。



①危ないのは誰か？

②何が危ないか？

③どうすればいいか？

④みんなで守る約束は？

3 KYTに取り組んでみませんか

育成者やジュニアリーダーなど、子ども会育成会の活動参加者でKYTを実施し、「潜在的な危険を」を見つける練習をしましょう。そこで身につけた危険を回避する能力を、日々の活動の中で活かしてみたいかがでしょうか。

KYTトレーニングシートや資料が事務局にあります。
やってみたい育成会は、お気軽にお問い合わせください。

子ども会育成会活動の一年 —単位育成会と市子連—

単位育成会の活動と市子連の活動の一年を表にしました。市子連は、会の円滑な運営のための会議や、単位育成会向けの研修会や情報共有のための交流会、モデル的な体験活動事業などを一年を通して実施しています。

月	単位育成会の活動(例)	自分の子ども会育成会の活動を記入してみましよう！	市子連の活動(令和6年度事業)	月
4	自治会内美化作業 役員会義 安全共済会申込		第1回理事会 令和6年度総会・全体研修会・ブロック内顔合せ	4
5	畑作業(苗植え) 補助金申請		補助金申請案内通知発送 安全共済会取りまとめ・加入手続き ブロック別交流会(右岸)、長野県子ども会育成連合会総会	5
6	花壇花植え		ブロック別交流(左岸)(真田地域) ボードゲーム体験会	6
7	花壇の水やり		ブロック別交流(丸子地域) 第2回理事会	7
8	ラジオ体操 夏祭り・盆踊り		のびのび川遊び体験教室 補助金交付開始	8
9	敬老会		第3回理事会	9
10	運動会 収穫祭		秋の自然体験活動	10
11	焼き芋会		各種提出物依頼発送	11
12	しめ縄作り クリスマス会		長野県青少年健全育成県民大会	12
1	道祖神			1
2	役員引継ぎ 実績報告等の提出		冬の自然体験教室	2
3	卒業を祝う会		第4回理事会 各種提出物のまとめ	3



うれしい！楽しい！体験活動

体験活動支援事業補助金の助成を受けて行われた活動を紹介します。



上沢育成会

「信濃国分寺駅美化奉仕活動」

親子での参加が多く、声を掛け合いながら花植えやゴミ拾いを一緒に行うことができました。しなの木会の方に説明をいただきながら、レイアウトに沿って植えた花々を地域の皆さんや駅の利用者の方々に見ていただきたいと思います。

下室賀育成会

「体験型イベント」

ドローン体験、豊年太鼓体験、モルック体験、消防団積載乗車体験など地域の団体や公民館など各所にご協力いただき様々なことを体験することができました。

特に初めて操縦するドローン体験は、興味津々で行っていました。参加した子どもも大人も笑顔でたのしむことができました。



岩清水育成会

「ピザ作り体験」

岩清水のイベントである「眺望フェス」でピザ店を出店するためその練習を兼ねて行いました。次々ピザを作って焼くにはどうするのが一番良いか模索しながら皆で協力して行うことができました。子どもたちは楽しみながらもいろいろなことを学んでもらえたと思います。



塩田新町育成会

「水路の生き物調査」

塩田新町農区水路で魚などの生き物を捕獲して、水生生物に詳しい方に名前や生態などを教えてもらいました。水路にカニ、エビ、魚など多種認められ、塩田新町の自然が守られていることを子どもたちと一緒に確認することができました。





田町育成会

「りんご狩り体験」

地元の特産品を勉強し、自分で収穫するなどの良い体験ができました。
おいしいりんごを食べ、収穫時期によってりんごの種類が変わることもわかりました。



鷹匠町育成会

「魚釣り体験」

「釣りが楽しかった!」
「もっと釣りたい」
「ジマスがすごくおいしかった」
との感想が子どもたちから聞かれました。自然の中で、子どもたちが助け合う姿が見られてうれしかったです。

下組育成会

「マダラヤンマ観察会」

保護研究会の方から、この日はここ10年のなかで一番観察条件が良かったと聞きました。
天気も良くマダラヤンマも活発に飛んでいる観察日和でした。

セレーノ八木沢育成会

「きのこ栽培」

暑い日の作業で、重い木を運んだり、ぬかるんだ場所の草刈りなど大変なこともありましたが、子どもたちは一生懸命作業を頑張りました。
木をたたくとてもきれいな音がするので、良い経験になりました。



文部科学省の青少年の体験活動に関する調査結果報告

全ての子どもたちが様々な体験にチャレンジできるよう

周りにいる大人が「意図的」「計画的」に体験の機会や場を増やしていきましょう！

2万人以上の子どもを0歳から18歳まで追跡調査したデータを用いて、子どもの頃の「体験」が、その後の成長に及ぼす効果を分析した結果が、文部科学省より発表されました(令和3年9月)。

小学生の頃に体験活動の機会に恵まれていると、家庭の経済状況などに左右されることなく、高校生の頃の自尊感情が高くなる傾向が見られる、などが分かったそうです。

【研究結果の概要】

- 小学生の頃に体験活動(自然体験、社会体験、文化的体験)や読書、お手伝いを多くしていた子どもは、高校生になって、次の意識が高く見られることが分かった。
「自分に対して肯定的」「自分に満足しているなど」の自尊感情
「自分のことを活発だと思う」外向性
「新しいことに興味を持つ」、「自分の感情を調整する」、「将来に対して前向き」といった精神的な回復力
- 小学生の頃に異年齢(年上・年下)の人とよく遊んだり、自然の場所や空き地・路地などでよく遊んだりした経験のある高校生も、上記と同様の傾向が見られた。
- 経験した内容(体験活動や読書、遊び、お手伝い)によって影響が見られる意識や時期が異なることから、一つの経験だけでなく、多様な経験をすることが必要であるということが見えてきた。
- 小学校の時に体験活動などをよくしていると、家庭の経済状況等に関わらず、高校生の時に自尊感情や外向性、精神的な回復力が高くなる傾向が見られた。

【研究結果の意義】

- 文部科学省は、今回の調査で、これまで直感的に捉えられてきた「体験活動は子どもの成長にとって大切な要素だ」という感覚を、確かな分析方法により裏付けられた、と述べています。
- また、全ての子どもたちが、置かれている環境に左右されることなく体験の機会を十分に得られるように、
 - ・家庭では、お手伝いや読書の習慣を身に付ける
 - ・地域では、休日等に地域の大人と遊びや行事を通じて交流する機会を設ける
 - ・学校では、地域と連携しつつ体験活動の充実を図るなど、地域・学校・家庭が協働して「多様な体験を土台とした子どもの成長を支える環境づくり」を進め、よりよい社会創りにつなげていきたい、と述べています。

上田市子ども会育成連絡協議会事務局所在地・連絡先等

1 上田地域子ども会育成連絡協議会事務局

- (1) 所在地 〒386-8601
上田市大手1丁目11番16号
上田市役所南庁舎1階
(上田市教育委員会生涯学習・文化財課内)
- (2) 電話 0268-23-6375
- (3) FAX 0268-23-6368
- (4) メール ikuseikai@city.ueda.nagano.jp

2 丸子地域子ども会育成連絡協議会事務局

- (1) 所在地 〒386-0404
上田市上丸子1592番地2 (丸子公民館内)
- (2) 電話 0268-42-3147
- (3) FAX 0268-42-0303
- (4) メール marukok@city.ueda.nagano.jp

3 真田地域子ども会育成連絡協議会事務局

- (1) 所在地 〒386-2201
上田市真田町長7199番地1 (真田中央公民館内)
- (2) 電話 0268-72-2655
- (3) FAX 0268-72-8133
- (4) メール sanadak@city.ueda.nagano.jp

4 武石地域子ども会育成連絡協議会事務局

- (1) 所在地 〒386-0503
上田市下武石742番地 武石地域総合センター2階
- (2) 電話 0268-85-2030
- (3) FAX 0268-85-2205
- (4) メール takesik@city.ueda.nagano.jp

5 上田市子ども会育成連絡協議会ホームページへのアクセス方法

上田市ホームページトップページ

(<http://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/shogaku3853.html>)

→「楽しむ・文化・スポーツ」の「生涯学習」

→「生涯学習」の「上田市子ども会育成連絡協議会」を御覧ください。

※ホームページには各種書式を掲載しています。